2期講座 第3回

■日時／令和6年5月11日(土)10:00～12:30
■会場／益城町交流情報センターミナテラス視聴覚室(益城町木山236)
■参加／ 32名(うちアーカイブ視聴5名)

熊本地震の現場から②

「障がいのある女性の困難と支援」

講師：平野みどり氏
(特定非営利活動法人DPI日本会議議長・元県議会議員)







【講座内容】

平野さんご自身や周囲の熊本地震発災時の混乱ぶりを振り返りながら、困難に遭った障がい女性や少女、その家族についての事例を複数紹介。受講生の事例ごとに、どのような支援や配慮が必要だったのか、避難所で必要だった環境は？などを考える機会となった。併せて障害者権利条約の対日審査後の総括所見についても説明があり、新たな気付きの多い講座であった。

【参加者アンケートより】 ＊1期・2期より抜粋

障害者権利条約を批准したにも関わらず、インクルーシブ社会の実現という方向性を示していてもいまだ進んでいないといいことが今回の平野さんのお話からも分かり、どうにかしていかなければいけないと強く感じました。やはり障がい理解を広めなければいけません。

防災訓練にも、障がいがある人にも積極的に参加できる環境をつくること、地域の住人にも障害がある方のニーズを知ってもらい、個人と地域、両方の防災意識が高まる活動をしていかなければと思った。

2期講座 第6回

■日時／令和6年7月20日(土)10:00～12:30
■会場／益城町交流情報センターミナテラス視聴覚室(益城町木山236)
■参加／ 32名(うちアーカイブ視聴7名)

スキルアップ実践編②

「親子向けワークショップの実践編」

講師：柳原志保氏(Rin１期修了生・防災士・ペット防災サポート士)



１期生が作成した
防災クイズを披露





「だんごむし」ポーズ

【講座内容】

１期の修了生であり「歌う防災士」として県内外で活躍中の柳原さんの実践講座。

自身の東日本大震災での経験やその後の防災への取り組みなどの話を交えながら、実際の啓発活動時のポイントなどを分かりやすく説明していただいた。その他にも１期生10名の参加もあり、受講生にとって、今後につながる気付きと勇気をもらう機会となった。

【参加者アンケートより】 ＊1期・2期より抜粋

受講者を飽きさせない、体験させて記憶に残す進め方はとても勉強になりました。自分に何ができるのだろうと不安があった中、やってみよう！と自信がつきました。

「防災」について分かりやすくハードルを低くした内容でワークショップを実施する上で参考になるポイントがたくさんでした。また、１期生の方々からの防災活動に関する報告も学びになりました。

2期講座 第7回

■日時／令和6年7月27日(土)10:00 ～ 12:30
■会場／益城町交流情報センターミナテラス視聴覚室(益城町木山236)
■参加／ 32名(うちアーカイブ視聴4名)

スキルアップ実践編③

「地域における活動実践ワークショップ」

講師：竹内裕希子氏
(熊本大学大学院先端科学研究部教授/NPO法人くまもと防災士会代表理事)





【講座内容】

１期生の振り返りから、竹内先生による実践講座を追加。地域における活動実践ワークショップということで「個別避難計画」という課題に向き合う時間となった。

グループワークでは、要配慮者(要介護、肢体不自由、認知症の方など)の個々の危険個所や家庭環境などに配慮しながら、これまでの講座や視察を通して学び得たことなどを駆使し、迅速で的確な判断を迫られる場面での行動計画を作成。自分は何ができるのかを考え、手に汗握るシミュレーションとなり、多くの課題と新たな気付きも得られた貴重な機会であった。



【参加者アンケートより】
＊1期・2期より抜粋

個別避難計画、大事だということは知っていましたが、計画の作成までは考えたことなかったのでとても新鮮でした。それと同時に、一人ひとりに寄り添うことの大事さ、地域性、まずは信頼を得ることなど、なるほどと思いました。

個別避難の難しさ、プライベートに踏み込まなければ意味がない。しかし無理強いをしないなどの狭間で、私は悩みながら活動していくかもしれないなと感じました。

インクルーシブ防災を知ってから、「誰も取り残さない」ことの重要性を感じ、このプロジェクトに参加させていただきました。グループワークを通してそれぞれの意見を聞けて話し合うことの大切さも学べました。